

2016 春山合宿 後立山 五竜岳



遠見尾根から五竜岳

記録 福澤 卓三

日時：2016年4月27日(木)～5月1日(日)

メンバー：L福澤卓三、富岡英俊

コースタイム：

4月27日(夜) バスタ新宿(新宿バスターミナル)(22:50 発)

4月28日(雨・夜雪) 富山(5:30 着)－(6:11)立山(7:40)－美女平(7:50)－(8:40)室堂
－(11:50 着)－の越(13:00 発)－ 室堂山荘(13:40)

4月29日(曇り) 室堂(8:45 発)－大観望(9:10 発)－黒部平(9:30 発)－黒部湖(10:05 発)

－扇沢(11:30 発)－大町(12:19 着)－白馬－テレキャビン・リフト(14:30 発)－幕営地(17:30)

4月30日 幕営地(9:30 発)－(12:30 着)五竜山荘(13:30 発)－本峰アタック－五竜山荘 15:00)

5月1日 五竜小屋(11:30)－テレキャビン駅(14:00)－白馬(15:37 発)－松本(17:18 発)

4月27日(夜)

4月4日に新宿に新しくバスターミナルが建設された。南口の正面にあり、わかりやすく非常に便利になった。掲示板もわかりやすく迷うことはない。空港の待合室みたいで、おしゃれである。富岡とおちあってから、外にお茶を飲みに行った。入山日の高揚感もあり話し込んだ。オープンカフェに雨が降ってきた頃、出発の時刻になった。バスは22時50分発である。電車のように席取りもなく、ゆっくりとすわっていかれる。多少なれないので眠れないが快適に富山まで運んでくれた。これで3900円は魅力である。

4月28日

最初の計画は立山から槍ヶ岳の縦走であった。バスは富山に着き、順調に室堂に着き、登山計画書を提出したのだが、受付で天気が悪いので警備隊に聞いてみたらと言うことで詰所に行った。数日前に強風が吹き、屋上では立っていられなかったそうだ。天気予報も明日から冬型になり、今日も雨なので様子を見たらどうだろうと言われた。50cmくらい雪が降るだろうと言われ、我々の長い縦走、重いザック、2名だけでのラッセルを考えると計画通りに、縦走するのはきついなと思った。ここで待つか、五色ヶ原キャンプ場まで行くか迷ったが、とりあえず行ってみようとの越をめぐす。歩き始めて、こんなはずではと毎度思う。ザックも身体も重い。長距離バスでよく眠れず、姿勢も横になってないなので疲れがあるのは確かであるが、トレーニングをしても体力はおちている。ザックも普段あまり山に行っていない身には重すぎる。よく山行に行っている富岡を先に行かせ、小雨の中を必死で一の越山荘をめぐす。雪は例年より少ないが小屋までびっしりついている。富岡より1時間遅れて小屋に着いた。小屋には従業員がいた。五色ヶ原まで行かずに、天気の様子をここで見ようと天幕を張ろうとしたが、雷鳥保護のため禁止と言われると張ることはできない。小屋も営業前で泊めることはできないといわれたので下るしかなく、バスターミナルも泊ることはできないので、雨でぐっしょり濡れながら室堂山荘に入った。濡れた衣類を乾燥室で乾かし、きれいな部屋の畳の上で寝転び、大きな風呂に入った。風呂ではうつらうつらして気持ちがよかった。厳しい自然の中にいるのかわからなくなるほど快適である。富岡と相談して、天気が悪く、エスケープルートもなく、人も入っていないので縦走が難しく計画を変えようと話し合い後立山の五竜岳に転進することにした。素泊だが快適であった。

4月29日

本日は、五竜岳の遠見尾根のテレキャビンとリフトの終着から数ピッチ上に幕営しようと決め、トロリーバスの時間を調べて出発。JR白馬駅まで何回のりかえるのだろう。

室堂－(トローリーバス)－大観望－(ロープウェイ)－黒部平－(地下ケーブルカー)－黒部湖－(徒歩)－黒部ダム－(トローリーバス)－扇沢－(路線バス)－信濃大町－(大糸線)－白馬－(タクシー)－白馬五竜スキー場－(テレキャビン)－(最終リフト)
 なんと昨日から、アルペンルートですべてのってしまった。



黒部アルペンルート

信濃大町 — 扇沢 — 黒部ダム — 黒部湖 — 黒部平 — 大観望 — 室堂 — 美女平 — 立山 — 富山

|-----¥1360-----|-----¥5860-----|-----¥2430-----|¥1200|

ゴールデンウィークの早いうちだったのか、どこもあまりこんでなかった。
 最終リフトの下では、まだスキーをやっていた。ボーダーよりもスキー板を履いている人のほうが多く以外であった。地蔵の頭、小遠見、中遠見を越えて、天気は曇りで、風もなくよかった。
 もう少し上にいい幕場があり他のパーティーも幕を張っていたが、時間もせまってきたので3ピッチで幕営することにした。夜、ゴ－ゴ－・ヒューヒューものすごい強い風が吹いた。

4月30日

ひさしぶりに晴れて、鹿島槍ヶ岳・五竜岳がくっきりとよく見えた。2ピッチも行くと、下山してくるパーティーがあり、上部はものすごい風で頂上はあきらめて下山してきたと言っていた

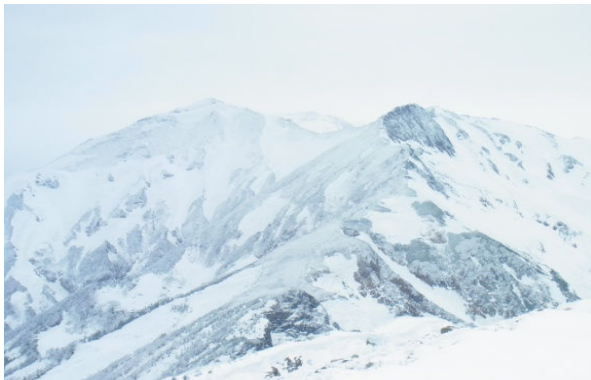
頂上に登ったパーティーも幻想を見たなんてオーバーなことを言っていたが風は相当強そうだ。



鹿島槍ヶ岳



五竜岳



唐松岳



斜面を登る福澤

白岳の下を巻いているトラバースルートが見えるが雪崩が出そうなので、白岳に登るルートを選んだがかなりの登りであった。小屋のあたりまで風の強さは感じなかったが、小屋に着いたあたりから風が強く感じるようになった。天幕を張る前に荷物を置いて頂上登ろうと出発した。稜線の下を巻いて行くが、風が強く5mのトラバスが3か所位あり、凍っていて、下もきれていて悪い。帰りが心配になり、明日頂上に再度登ることにしてもどった。テント場で天幕を張ろうとしたが、雪も石もなく強風の中張綱もはれない。1から2名用の天幕はまともに風を受けると弱そうなので、小屋に入ることにした。やはり小屋の中に入ると別世界である。

5月1日

強い風が吹き、視界が悪い。下山しようとして小屋を出たパーティーも引き返してくる。

頂上に行くために、待っていたが、待っていても同じだから富岡が行こうというので、頂上に向かった。風が強いが、冬の一ノ倉にいることを思えば、あの現実離れた圧迫感と恐怖感に比べれば、大したことはない。夏道から稜線に抜けるあたりで、富岡が帰ろうという。今日はここまでにしよう。小屋に戻って、下山しようとしたが視界がきかないので、いったん戻ってから下山した。白岳を過ぎたころから、風がなくなり、振り返ると頂上付近はガスがかかっている。風もふいているのだろう。下山途中で昨夜、五竜岳小屋でいろいろ会のことなど話した名古屋の女性たちもあって、春山らしい天気の中、無事にテレキャビンの駅に着いた。本日は風が強くてスキー場は閉鎖していた。タクシーを呼んでもらい、JR白馬駅まで行き、長野までバスで行こうと思ったが、1時間に1本のバスは直前にでてしまったあとで、JR白馬駅での駅員に時間を調べてもらい、松本までの電車があって、連絡よく松本から指定特急券が取れて座って帰れた。



名古屋の精鋭アルピニストたちと